

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが [57]

2023年5月15日

9条改憲NO! 全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668  
〈住所〉〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-3-3 太陽ビル 402 市民ネット内

## ◆「大軍拡・大增税反対署名」「憲法署名」は5月19日国会行動(18時30分～衆議院第二議員会館前)で提出します!

◆「反撃能力保有」の本質は敵地攻撃、相手国攻撃、全面攻撃の能力保有、そのための大軍拡にも、憲法審査会の毎週開催の中で改憲項目すり合わせ、9条への自衛隊書き込みのトリック(自民党改憲案)で多数の「9条改憲に反対」世論を欺瞞して狙われている改憲にも反対!

◆タガ外れた岸田自公政権の大暴走、世論無視の自民、公明、維新、国民の「悪政連合」による異常なまでの国会運営糾弾。市民の運動、市民と野党の共同の推進で、軍拡財源確保法案、軍需産業支援法案、原発推進等5法案(GX電源法案)、入管法改悪法案、マイナンバー法等改定案などなどの強行・実施を許さない!

◆5・19国会行動で提出—集めた署名、手持ちの署名は下記へ

《署名の届け先》

●戦争をさせない1000人委員会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 連合会館内

☎03-3526-2920

●憲法9条を壊すな! 実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-3-3 太陽ビル 402 市民ネット内

☎03-3221-4668

●戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館内

☎03-5842-5611

●九条の会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-7-303

☎03-3221-5075

## 「新たな戦前にさせない！」決意と運動列島にみなぎる <2>

憲法記念日各地の行動から

### 群馬 戦争は起こさせない 一人ひとりが真実を知る姿勢で 憲法集会で講演

高崎市内で3日、憲法記念日集会が開かれ1200人が参加しました。主催は5・3憲法記念日集会実行委員会。

集会では、学習院大学大学院教授・憲法学の青井未帆さんが「戦争は起こさせない平和を構想するために」と題した記念講演をおこないました。

青井さんは昨年末の安保関連3文書改定への流れを安倍政権から岸田政権までのプロセスとして説明。特に国民に真実を知らせないまま戦争に突入した戦前と同じように「いつの間にか」「知らない間に」きちんとした議論なしに憲法破壊の現実が進行していると、「戦争を起こさせない」ための一人ひとりの姿勢の重要性を指摘しました。

講演に先立つ集会の第1部ではフルートと弦楽による五重奏が演奏されました。

### 島根 日本を「戦争する国」にする安保3文書の危険性つかむ 松江市でつどい

「Make Peace のつどい」が3日、松江市の島根県民会館で開かれました。主催は憲法改悪反対！5・3実行委員会。300人が参加しました。

つどいでは、瀬野厚山口大学名誉教授が講演しました。テーマは「『安保三文書批判と命の安全保障政策の提言』—戦争できる国から戦争する国への転換を阻むために」。

参加者は集い終了後会場周辺をパレードし、「憲法9条を守ろう」「戦争しない世界を」などと訴えました。

### 岡山 内田神戸女学院大学名誉教授の講演に400人 岡山市

岡山県民のつどい「輝け日本国憲法！集会」が3日、岡山市で開かれました。集会には約400人が参加し、内田樹神戸女学院大学名誉教授の講演「憲法と自衛隊」を熱心に聞きました。

### 広島 「防衛力の強化は平和につながらない」とシール 広島市元安橋で宣伝

県内の幅広い有志が3日、広島市の原爆ドーム近くの元安橋で、「憲法を守り生かす社会に」の横断幕、憲法前文が書かれたタペストリーを掲げ、宣伝しました。行動には20人が参加しました。

行動では岸田自公政権が進める大軍拡、大増税政策の是非を問うシール投票に取り組みました。シール投票では「大軍拡、大増税に反対」が213、「賛成」11、「わからない」16でした。中学生の女子2人組は「防衛力の強化？そんなことをしたら、よその国も軍事力をもっと強めようとする。これだったら平和につながらない」と「反対」のシールを貼りました。

### 香川 安保3文書に抗し意欲的な運動を 総会と講演、平和行進 高松市

平和憲法を生かす香川県民の会は3日、高松市内で第22回総会を開催しました。350人が参加しました。

十河浩二同県民の会事務局次長は活動方針の提案で、「安保3文書は憲法の平和主義を破壊する違憲の文書であり、そのもとで大軍拡、大増税、9条改憲が狙われている。今こそ憲法を守り生かす意欲的な運動を大きく広げていこう」と呼びかけました。

本田由紀東京大学大学院教授が「生活と生存が脅かされる日本社会の現状」をテーマに記念講演を行いました。本田さんは、自民党が憲法を勝手に解釈して平和・自由・安心の基本原則を踏みにじってきたと現状について述べるとともに、「市民の運動で抵抗し、憲法に沿った社会を作ろうとする政治家を選ぶことが大事」と訴えました。

集会後参加者は、「必要なのは戦争ではなく、平和と友好だ！」とする横断幕などを掲げ市内を平和行進しました。

### 徳島 大軍拡ではなく戦争にしない外交努力こそ 徳島駅前でリレートーク

JR徳島駅前3日、「憲法街角トーク」が取り組まれ、九条の会徳島の上地大三郎事務局長、元イスラエル兵のダニー・ネフセタイさん、立憲民主党の庄野昌彦県連代

表、日本共産党の上村恭子元県議ら 16 人が 2 時間にわたりリレートークを繰り広げました。「軍拡ではなく戦争にさせない外交努力こそ大事」、「再び日本を戦争する国にしようとする岸田政権の暴走を止めよう」、「岸田首相は、戦争を呼び込む軍拡ではなく、ASEAN のような平和の外交の枠組みをつくるために働くべきだ」、「憲法は人の幸せを約束している。それを守れない政治家は失格」などと訴えました。

主催・呼びかけは、九条の会徳島、徳島憲法改悪反対共同センター、反核・平和フォーラム徳島、徳島人権・平和運動センター。

### **高知** 武力で平和は守れない 日本は憲法を生かして戦争回避の道すじ示す先頭に

憲法施行 76 周年県民の集いが 4 月 29 日、高知市内で開催されました。中継先の会場やオンラインでの視聴を含め 370 人が参加しました。主催は同つどい実行委員会。

集いでは、前川喜平さん（現代教育行政研究会）が「戦争を回避する道すじー武力で平和は守れない」をテーマに講演しました。

前川さんは、「ウクライナのようにならないためと称して、軍拡と改憲がもくろまれているがこれはウクライナから学ぶべきことではない」「戦争を回避する道すじを考えることこそが大事」「国際法で力の支配から法の支配に地球全体を変えていくこととであり、移行しつつある」「日本が法の支配の構築に向けて先頭に立つことこそが憲法が言う『名誉ある地位』にほかならない」などと力説しました。

### **福岡** 「日米同盟でなく平和外交を。沖縄の血の叫びだ」 仲山弁護士が講演

「憲法施行を記念する福岡県民集会」が 3 日、福岡市東区で開催されました。約 500 人が参加しました。主催は九条の会福岡連絡会などで構成する実行委員会。

集会では、呼びかけ人の横田耕一九州大学名誉教授があいさつし、高校生平和大使、気候変動対策を求めるフライデーズ・フォー・フューチャーの高校生、青年らが発言しました。

仲山忠克弁護士（沖縄弁護士会所属）が『「安保 3 文書」と憲法 9 条」と題して講演。アジア太平洋戦争末期の地上戦で悲惨な犠牲がもたらされた沖縄で自衛隊の新たな配備が進む現状を紹介、沖縄の苦難と犠牲の歴史は、軍事力で平和は築けないことを訴えていると強調、南西諸島へのミサイル基地の配備は急にきたものではなく日米安保体制の到達点であり、今後長射程ミサイル配備も予想されると分析、安保 3 文書改定の先に憲法 9 条の改憲があると指摘しました。日米同盟を基軸にするのではなく、平和外交をもとにした安全保障の構築へ国のあり方を変える必要があり、沖縄の犠牲を教訓に、日本の平和と安全を考えてほしい、これが沖縄からの血の叫びだ、と訴えました。

### **佐賀** 「憲法の侵奪」「世論で政治動かそう、女性参政権は戦前と違う」 講演会

佐賀市内で 3 日、「憲法講演会」が開催され、200 人が参加しました。主催・呼びかけは、くらしを守る共同行動佐賀県実行委員会と佐賀県平和運動センター。

杉浦ひとみ弁護士が「戦後を守る」と題して講演しました。杉浦さんは、安保法制や安保 3 文書などの強行でこの 10 年、憲法の侵奪が続いていると告発、「大きな世論で政治を動かしていこう。戦前と違い今は女性も参政権を持っている」と呼びかけました。

古賀初次オスプレイ反対住民の会会長は、地権者による管理運営協議会が防衛省への土地売却を決めた総会の様子を報告、国や知事が不当な方法で地権者らを追い詰めてきた実態を告発しました。

立憲民主党の原ロー博衆院議員があいさつし、日本共産党の仁比聡平参院議員からメッセージが寄せられました。

### **長崎** 「安保 3 文書、敵基地攻撃は憲法と相容れない」ながさき憲法フェスタ

「ながさき 9 条フェスタ」が 3 日、長崎市内で行われました。主催は長崎憲法フェスタ実行委員会。取り組みには 350 人が参加しました。

ジャーナリストの青木理さんが、安保 3 文書改定について、敵基地攻撃能力保有や軍拡を進める政権のやり方は日本国憲法と相容れず、憲法 9 条を捨てることは日本だけでなく人類の理想を捨て去ることだと指摘しました。青木さんは放送法の解釈をめぐるメディアへの干渉問題についても語りました。

集会では、「憲法 9 条を守り、平和の枠組み構築へのリーダーシップを」などとのアピールを採択し、「STOP 改憲！ 守ろう 9 条！」の横断幕を掲げ長崎市内をパレード

しました。

### **大分** 「抑止力論は核兵器保有に行き着く」と批判 第51回憲法記念日講演会

平和憲法を守る会・大分など8団体は3日、大分市内で第51回憲法記念日講演会を開催しました。200人が参加しました。

講演会は、植野妙実子中央大学名誉教授が「日本国憲法の平和主義と国家緊急権」と題して記念講演を行いました。植野さんは、自民党などがねらう9条への自衛隊の明記や緊急事態条項について、日本国憲法の根幹である平和主義や戦争放棄の原則、理念を失わせ、国民の権利をはく奪する危険を持つものであることを強調しました。憲法の平和主義は抑止力に依存しない外交の力をうたっており、抑止力論に立つと際限のない軍拡競争に至り、果ては核兵器保有にまでつながる、と「安保3文書」と岸田政権を批判しました。

日本科学者会議大分支部の代表は、陸上自衛隊大分分屯地の大型弾薬庫新設の危険なねらいについて発言、「ひろく県民に知らせよう」と訴えました。

### **熊本** 草の根の運動で岸田暴政阻止 小森陽一九条の会事務局長が講演 熊本市

「第39回憲法を守る熊本県民のつどい」が3日、熊本市で開催され、350人が参加しました。主催は熊本憲法記念行事実行委員会と秘密保護法廃止！くまもとの会。集会終了後市内アーケードをパレードしました。

主催者あいさつで猪飼隆明秘密保護法くまもとの会共同代表・大阪大学名誉教授は、水俣病やハンセン病のたたかいが、憲法を豊かにしてきたという事実で確信をもち、憲法を守り生かす運動を進めよう、と訴えました。

小森陽一九条の会事務局長・東京大学名誉教授が記念講演をおこないました。小森さんは、安保3文書閣議決定などの暴政を続ける岸田政権に対し、憲法9条を生かす草の根の運動で岸田政権の「戦争する国」づくりを阻止しようと訴えました。また九条の会の呼びかけ人の一人である大江健三郎さんを追悼し志を受け継ぐ運動を前進させようと呼びかけました。

つどいでは、秘密保護法くまもとの会の運動を継承発展させて新たに「憲法改悪を許さない！くまもとネットワーク」を結成することになり、猪飼隆明さんや福島将美熊本県平和運動センター顧問など7人の共同代表を選出しました。

### **宮崎** 安保3文書の危険性の一つに自衛隊とアメリカ軍の一体化 講演で強調

「憲法と平和を考えるつどい」が3日、宮崎市の宮崎市民プラザで開かれ、城野一憲福岡大学准教授が講演しました。城野准教授は、安保3文書によって、日本が攻撃を受けているわけでもないのに集団的自衛権にもとづき、「反撃能力」を行使できるという安全保障の大きな転換点に立ち、ミサイル発射などの行使のために自衛隊とアメリカ軍の一体化が懸念されると警告しました。

### **鹿児島** 「抑止力論は核兵器保有に行き着く」と批判 第51回憲法記念日講演会

憲法記念日市民のつどいが3日、鹿児島市内で開催されました。生活協同組合コープかごしまなど7団体でつくる実行委員会が主催したものです。つどいには約200人が参加しました。この取り組みは1997年の日本国憲法施行50年を機に「憲法の意義を知り、暮らしに生かす」ことを目的につどいを毎年開催し、今年で27回目となったものです。今回の実行委員長の小栗実さんは、「憲法について考え、学ぶ機会を大切に育てていこう」呼びかけました。

全国で憲法カフェや女性による女性のための相談会などに取り組んでいる弁護士の武井由起子さんが、「SDGsと憲法」と題して講演しました。武井さんは現在の著しい軍備拡張や人間の尊厳蹂躪が当たり前になっている状況は「新しい戦前」ともいうべき事態であり、平和な世界についても、SDGsについても、憲法についても半径5メートルにいる身近な人たちとまず語り合うことが大事ではないか、と訴えかけました。

つどいでは麦の芽福祉会のバンドや平和・友達をテーマにした歌の演奏がされました。

**5月3日を中心とした全国各地の活動の情報をお寄せください。(事務局)**